

平成29年度

# 全国学力・学習状況調査報告書

当別町教育委員会

# 目 次

|                       |    |
|-----------------------|----|
| I 調査について              | 1  |
| II 小学校の分析             | 2  |
| 1) 学力調査               |    |
| 2) 学習状況調査（生活習慣・学習環境等） |    |
| III 中学校の分析            | 10 |
| 1) 学力調査               |    |
| 2) 学習状況調査（生活習慣・学習環境等） |    |
| IV 当別町学力向上プラン         | 17 |

# I 調査について

## 1 目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取り組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 対象学年

- (1) 小学校 第6学年
- (2) 中学校 第3学年

## 3 内容

### (1) 教科に関する調査（国語、算数・数学）

| 【国語A、算数・数学A】  | 【国語B、算数・数学B】   |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・主として「知識」に関する問題</li><li>・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容</li><li>・実生活において不可欠であり、常に活用できるようにになっていることが望ましい知識、技能など</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・主として「活用」に関する問題</li><li>・知識、技能等を実生活の様々な場面に活用する力などにかかわる内容</li><li>・様々な課題解決のために構想を立てて実践し、評価・改善する力などにかかわる内容</li></ul> |

### (2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

| 児童生徒に対する調査                   | 学校に対する調査                         |
|------------------------------|----------------------------------|
| 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 | 指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備状況に関する調査 |

## 4 期日

平成29年4月18日（火）

## 5 実施した学校及び児童生徒数

|     | 対象学校数 | 対象児童生徒数 | 参加児童生徒数 | 参加率    |
|-----|-------|---------|---------|--------|
| 小学校 | 2     | 111人    | 110人    | 99.10% |
| 中学校 | 2     | 135人    | 121人    | 89.63% |
| 合計  | 4     | 246人    | 231人    | 93.90% |

※ 参加児童生徒数は、対象となる児童生徒数のうち、当日体調不良等により参加できなかった児童生徒を除いた人数

## II 小学校の分析

### 1) 学力調査

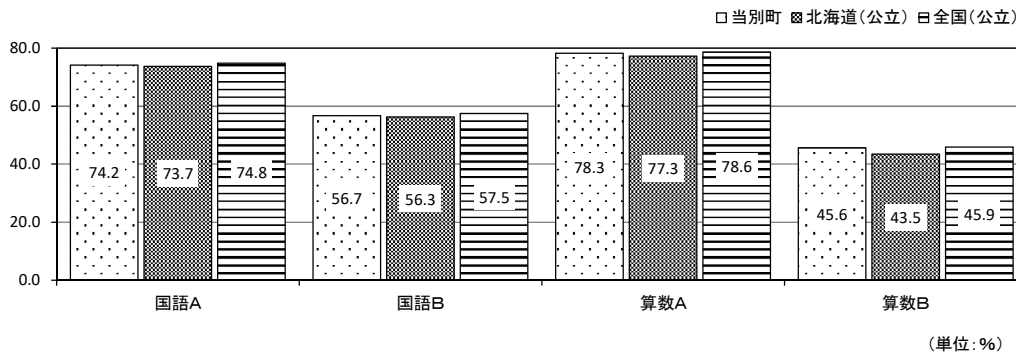
#### 1 教科ごとの平均正答率と平均正答数

|           | 国語A       |             | 国語B       |             | 算数A       |             | 算数B       |             |
|-----------|-----------|-------------|-----------|-------------|-----------|-------------|-----------|-------------|
|           | 平均正答率 (%) | 平均正答数 / 問題数 | 平均正答率 (%) | 平均正答数 / 問題数 | 平均正答率 (%) | 平均正答数 / 問題数 | 平均正答率 (%) | 平均正答数 / 問題数 |
| 当別町       | 74.2      | (11.7/15)   | 56.7      | (5.1/9)     | 78.3      | (11.7/15)   | 45.6      | (5.0/11)    |
| 北海道(公立)   | 73.7      | (11.6/15)   | 56.3      | (5.1/9)     | 77.3      | (11.6/15)   | 43.5      | (4.8/11)    |
| 全国(公立)    | 74.8      | (11.8/15)   | 57.5      | (5.2/9)     | 78.6      | (11.8/15)   | 45.9      | (5.1/11)    |
| 全国との差     | ▲ 0.6     | (-0.1/15)   | ▲ 0.8     | (-0.1/9)    | ▲ 0.3     | (-0.1 /15)  | ▲ 0.3     | (-0.1/11)   |
| 昨年度の全国との差 | ▲ 0.5     | (-0.9/14)   | ▲ 3.8     | (-0.6/10)   | ▲ 2.6     | (-1.2 /16)  | ▲ 0.7     | (-0.6/13)   |
| 昨年度と差の比較  | ▲ 0.1     |             | + 3.0     |             | + 2.3     |             | + 0.4     |             |

※( )内の平均正答数と問題数欄は分子が平均正答数で、分母が問題数として記載。

※平均正答率…平均正答数を百分率で表示。国語A、国語B、算数A、算数Bごとの平均正答率は、それぞれの平均正答数を設問数で割った値の百分率(概数)。

[ ・北海道の平均正答率:国から提供されたデータをもとに北海道教育委員会が独自に算出した小数値  
 ・当別町の平均正答率:国から提供されたデータをもとに当別町教育委員会が独自に算出した小数値 ]

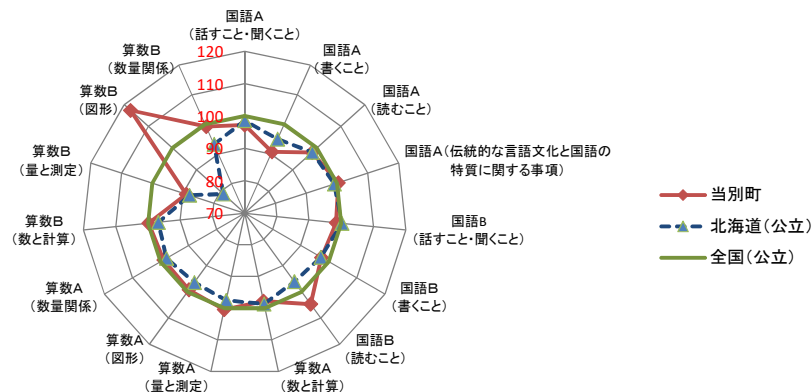


#### 2 全国平均を基準(100)とした場合の領域ごとの正答率

|         | 国語A (話すこと・聞くこと) | 国語A (書くこと) | 国語A (読むこと) | 国語A (伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項) | 国語B (話すこと・聞くこと) | 国語B (書くこと) | 国語B (読むこと) | 算数A (数と計算) | 算数A (量と測定) | 算数A (図形) | 算数B (数量関係) | 算数B (数と計算) | 算数B (量と測定) | 算数B (図形) | 算数B (数量関係) |
|---------|-----------------|------------|------------|----------------------------|-----------------|------------|------------|------------|------------|----------|------------|------------|------------|----------|------------|
| 問題数     | 1/15            | 2/15       | 3/15       | 11/15                      | 3/9             | 5/9        | 1/9        | 8/15       | 1/15       | 1/15     | 5/15       | 5/11       | 2/11       | 1/11     | 8/11       |
| 当別町     | 97.3            | 90.8       | 98.0       | 100.4                      | 98.5            | 97.4       | 104.7      | 97.8       | 100.4      | 99.3     | 98.9       | 99.8       | 88.9       | 117.4    | 99.3       |
| 北海道(公立) | 98.6            | 95.0       | 98.1       | 99.1                       | 100.2           | 97.2       | 96.1       | 98.6       | 97.5       | 96.4     | 97.9       | 96.8       | 87.9       | 78.8     | 93.3       |
| 全国(公立)  | 100             | 100        | 100        | 100                        | 100             | 100        | 100        | 100        | 100        | 100      | 100        | 100        | 100        | 100      | 100        |

教科の領域別に全国を100とした場合の状況をレーダーチャートで示したものの。

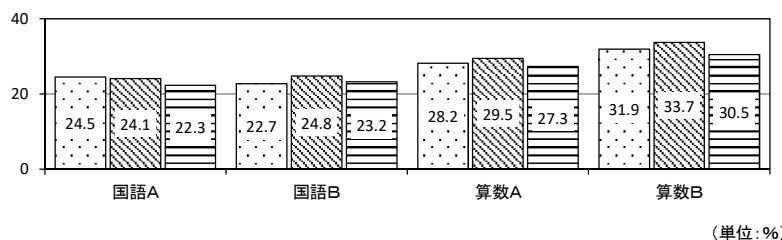
(当別町児童の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



### 3 全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合

| 全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合 | 国語A      |       |       | 国語B     |       |       | 算数A       |       |       | 算数B      |       |       |
|------------------------------|----------|-------|-------|---------|-------|-------|-----------|-------|-------|----------|-------|-------|
|                              | 当別町      | 北海道   | 全国    | 当別町     | 北海道   | 全国    | 当別町       | 北海道   | 全国    | 当別町      | 北海道   | 全国    |
|                              | 24.5%    | 24.1% | 22.3% | 22.7%   | 24.8% | 23.2% | 28.2%     | 29.5% | 27.3% | 31.9%    | 33.7% | 30.5% |
|                              | 15問中9問以下 |       |       | 9問中3問以下 |       |       | 15問中10問以下 |       |       | 11問中3問以下 |       |       |
| 全国との差                        | + 2.2    | 多い    |       | ▲ 0.5   | 少ない   |       | + 0.9     | 多い    |       | + 1.4    | 多い    |       |
| 昨年度の全国との差                    | ▲ 0.2    | 少ない   |       | + 5.0   | 多い    |       | + 0.2     | 多い    |       | ▲ 2.3    | 少ない   |       |
| 昨年度と差の比較                     | + 2.4    | 増加    |       | ▲ 5.5   | 減少    |       | + 0.7     | 増加    |       | + 3.7    | 増加    |       |

□当別町 ▨北海道 □全国



### 4 教科ごとの結果概要

#### 【国語】

- ① 国語A、Bともに、全国の平均正答率・正答数と同様の結果となった。特に国語Bについては、各校の授業改善の結果、昨年度に比べ大幅な改善が見られた。
- ② 国語Aでは、本年度、3年生で学習する「手紙の書き方」が出題され、全道、全国平均を下回った。書くことを苦手としている傾向がみられるので、当該学年での学習に留まらず、授業はもとより学校生活や日常生活の中でも指導を継続する必要がある。
- ③ 下位層の割合が、昨年度に比べ国語Bで大幅に減少している。授業改善の成果が着実に表れており、引き続き、授業改善に取り組む必要がある。

#### 【算数】

- ① 算数A、Bともに、全国の平均正答率・正答数と同様の結果となった。
- ② 領域別では、算数A「数と計算」、算数B「量と測定」において、全国平均との差がやや開いている。一方、これまで全国平均と比べ落ち込みが見られた算数B「図形」では、全国平均を上回る大幅な改善が見られた。
- ③ 下位層の割合が、昨年度と比べ増加していることから、これまで各学校で地道に取り組んできた授業改善、習熟度別・少人数指導などの指導方の工夫、学習規律の徹底などを見直していく必要がある。

### 5 改善策

#### 国語

- 表現力、読解力の育成のために、一斉音読、グループ音読やペア音読など、授業に音読を積極的に取り入れる。
- 文章を書かせる場面を多く設定し、「書く力」を育成する。

#### 算数

- 計算力を高めるため、低学年においては、定規を使い、位を揃えるなど、丁寧に計算する指導を強化する。
- デジタル教科書を活用した授業改善に取り組む。
- 一貫教育推進講師を活用し、専門的な指導を取り入れる。

#### 授業全般

- 学習規律の徹底を図り、板書の工夫、丁寧なノート指導を行う。
- 授業の終わりに、適応問題で授業の定着度を測り、振り返りの時間を設けて、自己評価を自分の言葉で書かせる。

## 2) 学習状況調査（生活習慣・学習環境等）

### 【学習に関して】

| 全国と比べ優位な項目  | 当別町  | 全国   | 差    |
|---|------|------|------|
| 400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか<br>(「当てはまる」と回答した割合)                                     | 24.5 | 32.9 | △8.4 |
| 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか<br>(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)    | 77.3 | 68.2 | +9.1 |
| 国語の勉強は大切だと思いますか。<br>(「当てはまる」と回答した割合)  | 67.3 | 65.7 | +1.6 |
| 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか<br>(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)                | 72.7 | 68.0 | +4.7 |
| 算数の勉強は好きですか<br>(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)  | 71.8 | 65.9 | +5.9 |
| 算数の勉強は大切だと思いますか<br>(「当てはまる」と回答した割合)   | 74.5 | 72.9 | +1.6 |
| 算数の授業の内容はよく分かりますか。<br>(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)                                     | 81.0 | 80.6 | +0.4 |
| 算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか<br>(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)                   | 83.6 | 81.1 | +2.5 |
| 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか<br>(「当てはまる」と回答した割合)                                       | 71.8 | 66.7 | +5.1 |
| 今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、どのように解答しましたか<br>(「全ての問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答した割合) | 79.1 | 69.9 | +9.2 |

### 特徴的な傾向

- ・問題を最後まで諦めずに解こうとする粘り強さが子どもたちに出てきていることが、成果となって表れてきている。
- ・話し合い活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることが全国平均を大きく上回っていることは、深い学びに通じることであり、授業改善の成果が表れている。
- ・原稿用紙2～3枚、1000文字程度を書くことが難しいと思っている子供の割合が全国より低いことは、書くことに苦手意識をあまり持たなくなっている傾向がうかがえる。今後も「書く力」を向上させるために、授業のみならず、宿題に「作文」を書かせるなど、様々な機会を捉えて指導を行う。

【学習に関して】

| 全国と比べ改善が必要な項目   | 当別町  | 全国   | 差     |
|---|------|------|-------|
| 国語の勉強は好きですか<br>(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)                                | 51.8 | 60.5 | △8.7  |
| 国語の授業の内容はよく分かりますか<br>(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)                          | 70.9 | 82.2 | △11.3 |
| 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか<br>(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)        | 83.7 | 87.9 | △4.2  |
| 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか<br>(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計) | 62.7 | 63.4 | △0.7  |
| 算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか<br>(「当てはまる」と回答した割合)                            | 45.5 | 50.3 | △4.8  |
| 算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか<br>(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)          | 67.3 | 69.1 | △1.8  |
| 算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか<br>(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)          | 80.0 | 81.4 | △1.4  |
| 算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか<br>(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)       | 79.1 | 82.6 | △3.5  |
| 読書は好きですか<br>(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)                                   | 63.6 | 74.3 | △10.7 |

特徴的な傾向

- ・国語の授業内容が、あまり理解されていないのが結果に表れている。学校全体で、国語科の授業方法を見直すことが重要である。
- ・算数の学習で、既習事項を生活に活用するところが、全国より低い結果として出ている。新学習指導要領において、「基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育む」ことが今後求められてくるので、学校全体で授業改善に取り組む必要がある。
- ・すべての教科の基礎となる、読解力をつけさせるには、読書が有効である。町から派遣されている司書を活用し学校図書室の環境整備を行い、子どもたちが本に親しめるようにする。さらに、学習交流センターやコミュニティーセンター図書室なども活用して、読書活動にも力を注ぐ必要がある。

【家庭学習について】

| 全国と比べ優位な項目   | 当別町  | 全国   | 差     |
|--|------|------|-------|
| 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）<br>(1時間以上勉強している割合の合計) | 76.4 | 64.4 | +12.0 |
| 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）<br>(1時間以上勉強している割合の合計)       | 81.8 | 57.3 | +24.5 |
| 家で、自分で計画を立てて勉強していますか。<br>(「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合の合計)   | 72.8 | 64.5 | +8.3  |
| 家で、学校の宿題をしていますか<br>(「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合の合計)   | 97.3 | 96.9 | +0.4  |
| 家で、学校の授業の復習をしていますか<br>(「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合の合計)  | 75.5 | 53.8 | +21.7 |

特徴的な傾向

- ・家庭学習の取り組みが習慣化されていることがうかがえる。
- ・休日の家庭での学習時間が全国よりも大きく上回っていることが、学力向上と深く結びついていると考えられる。
- ・自分で計画を立てて学習する児童の割合も全国を上回り、自主的な学習態度が身に付きつつあることがうかがえる。
- ・家庭での復習も全国を大きく上回り、児童の基礎学力の定着に結びついていると考えられる。
- ・放課後学習などを活用して、子どもたちの学習習慣づくりに努めている。



【基本的な生活習慣について】

| 全国と比べ改善が必要な項目  | 当別町  | 全国   | 差     |
|--|------|------|-------|
| 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか<br>（「4時間以上」と回答した割合）           | 12.7 | 9.3  | +3.4  |
| 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか（勉強のためのテレビやビデオ・DVDを見る時間、テレビゲームをする時間は除く）<br>（「4時間以上」と回答した割合） | 20.0 | 16.6 | +3.4  |
| 朝食を毎日食べていますか<br>（「している」と回答した割合）  | 74.5 | 87.0 | △12.5 |
| 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか<br>（「している」と回答した割合）  | 29.1 | 38.2 | △9.1  |
| 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか<br>（「している」と回答した割合）   | 56.4 | 58.9 | △2.5  |
| テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていますか。<br>（「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合の合計）                                      | 47.3 | 58.3 | △11.0 |
| 携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか<br>（「きちんと守っている」「だいたい守っている」と回答した割合の合計）                                  | 40.9 | 48.7 | △7.8  |

特徴的な傾向

- ・ゲーム、テレビ、DVD等に4時間以上費やす児童の割合が全国より高い傾向にある。家庭内でのルール作りをしっかりと行い、子どもたちに時間を自分で管理できるように指導していきたい。
- ・規則正しい就寝・起床の習慣が全国より低く、携帯、スマートフォン、ゲームに関する家庭内でのルール作りが、全国より低い傾向にある。保護者に対し、家庭教育をしっかりと行うことの重要性を啓発していく必要がある。

【指導に関わる項目について】

| 全国と比べ優位な項目   | 当別町  | 全国   | 差     |
|--|------|------|-------|
| 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか               | 87.3 | 69.8 | +17.5 |
| 5年生までに受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか | 83.6 | 77.9 | +5.7  |
| 5年生までに受けた授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか                                | 93.6 | 84.5 | +9.1  |
| 5年生までに受けた授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか                                     | 93.7 | 88.2 | +5.5  |
| 5年生までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか                         | 91.8 | 88.7 | +3.1  |
| 5年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか                       | 75.5 | 70.2 | +5.3  |

※「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計

| 全国と比べ改善が必要な項目                                    | 当別町  | 全国   | 差     |
|--|------|------|-------|
| 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか                     | 70.9 | 86.0 | △15.1 |
| 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくださいか | 80.9 | 85.1 | △4.2  |

※「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計

特徴的な傾向

- ・学習規律が守られていることがうかがえる。
- ・課題解決に自分なりに見通しを持たせることが、主体性のある学び方につながっている。
- ・ノートづくりをしっかりと指導することで、学びのヒントが詰まったノートづくりになっており、授業の振り返りに役立っている。
- ・教師が、子どもたちを認め、ほめることでより成長が加速されると思われる。
- ・授業やテストのつまずきを先送りにせず、早く解消することで、子どもたちに基礎基本が定着し、学習意欲にも大きな影響を与えることから、教師が、分かるまできめ細かな指導を行うことが必要である。

【その他について】

| 全国と比べ優位な項目  | 当別町  | 全国   | 差    |
|---|------|------|------|
| 新聞を読んでいますか。<br>(「ほぼ毎日読んでいる」「週に1~3回程度読んでいる」と回答した割合の合計)                   | 23.6 | 21.0 | +2.6 |
| 将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いたりしてみたいと思いますか<br>(「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した割合の合計) | 35.5 | 33.6 | +1.9 |
| 人が困っているときは、進んで助けていますか<br>(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)            | 89.1 | 85.3 | +3.8 |
| いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか<br>(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)     | 97.2 | 96.1 | +1.1 |
| 人の役に立つ人間になりたいと思いますか<br>(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)              | 95.5 | 92.5 | +3.0 |
| 今住んでいる地域の行事に参加していますか<br>(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)             | 66.3 | 62.6 | +3.7 |
| 地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか<br>(「参加したことがある」と回答した割合)                    | 43.6 | 35.4 | +8.2 |

| 全国と比べ改善が必要な項目  | 当別町  | 全国   | 差    |
|--|------|------|------|
| 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか<br>(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)                                 | 59.1 | 63.9 | △4.8 |
| 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか<br>(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)                             | 36.4 | 42.3 | △5.9 |
| 地域の大人(学校や塾・習い事の先生を除く)に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか<br>(「よくある」「時々ある」と回答した割合の合計)               | 34.5 | 41.1 | △6.6 |
| テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか<br>(携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む)<br>(「よく見る」「時々見る」と回答した割合の合計) | 75.4 | 84.6 | △9.2 |

特徴的な傾向

- ・「地域行事への参加」「地域のボランティア活動の参加」は全国よりも高い傾向にあるが、地域への関心や貢献意欲が低い傾向にあるので、地域とのかかわりを一層深める取組が必要である。
- ・新聞は読む傾向にあるが、テレビやスマートフォンでニュースを見る割合が低い傾向にある。
- ・子どもたちが地域で安全に生活するためには、地域の大人の関わりが必要であるため、コミュニティ・スクールの活動が、今後重要となる。

### Ⅲ 中学校の分析

#### 1) 学力調査

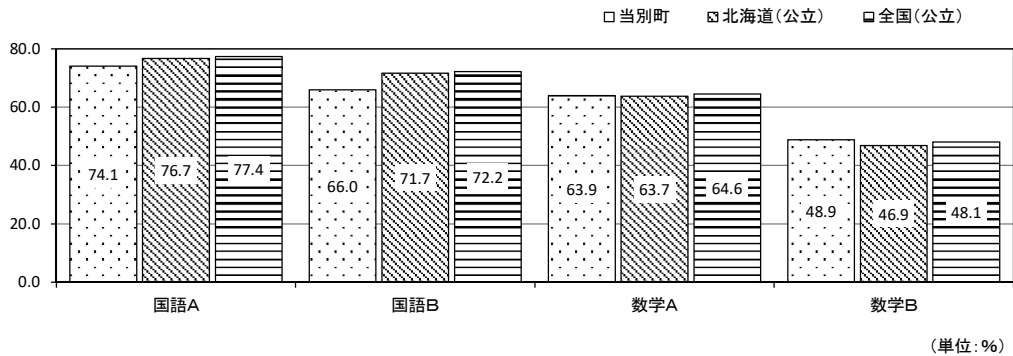
##### 1 教科ごとの平均正答率と平均正答数

|           | 国語A       |             | 国語B       |             | 数学A       |             | 数学B       |             |
|-----------|-----------|-------------|-----------|-------------|-----------|-------------|-----------|-------------|
|           | 平均正答率 (%) | 平均正答数 / 問題数 | 平均正答率 (%) | 平均正答数 / 問題数 | 平均正答率 (%) | 平均正答数 / 問題数 | 平均正答率 (%) | 平均正答数 / 問題数 |
| 当別町       | 74.1      | (23.7/32)   | 66.0      | (5.9/9)     | 63.9      | (23.0/36)   | 48.9      | (7.3/15)    |
| 北海道(公立)   | 76.7      | (24.5/32)   | 71.7      | (6.5/9)     | 63.7      | (22.9/36)   | 46.9      | (7.0/15)    |
| 全国(公立)    | 77.4      | (24.8/32)   | 72.2      | (6.5/9)     | 64.6      | (23.3/36)   | 48.1      | (7.2/15)    |
| 全国との差     | ▲ 3.3     | (-1.1/32)   | ▲ 6.2     | (-0.3/9)    | ▲ 0.7     | (-0.3/36)   | + 0.8     | (+0.1/15)   |
| 昨年度の全国との差 | ▲ 1.1     | (-1.1/33)   | ▲ 3.0     | (-0.3/9)    | + 2.3     | (-2.2 /36)  | + 0.7     | (-0.6/15)   |
| 昨年度と差の比較  | ▲ 2.2     |             | ▲ 3.2     |             | ▲ 3.0     |             | + 0.1     |             |

※( )内の平均正答数と問題数欄は分子が平均正答数で、分母が問題数として記載。

※平均正答率…平均正答数を百分率で表示。国語A、国語B、数学A、数学Bごとの平均正答率は、それぞれの平均正答数を設問数で割った値の百分率(概数)。

〔・北海道の平均正答率:国から提供されたデータをもとに北海道教育委員会が独自に算出した小数值  
・当別町の平均正答率:国から提供されたデータをもとに当別町教育委員会が独自に算出した小数值〕

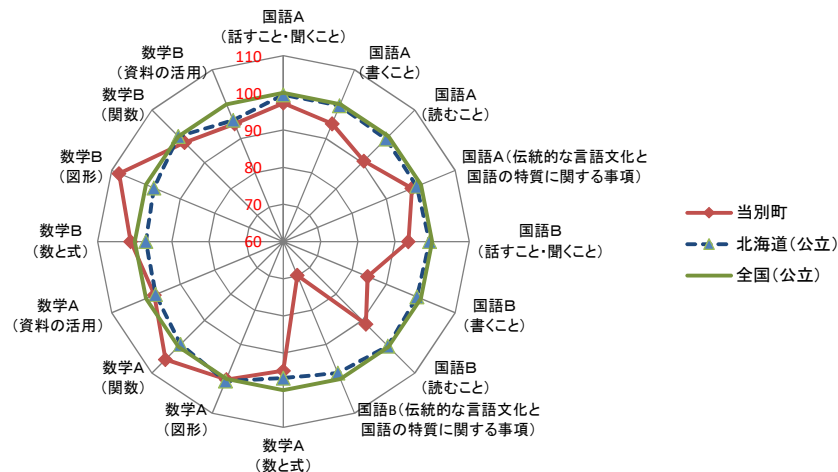


##### 2 全国平均を基準(100)とした場合の領域ごとの正答率

|         | 国語A (話すこと・聞くこと) | 国語A (書くこと) | 国語A (読むこと) | 国語A (伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項) | 国語B (話すこと・聞くこと) | 国語B (書くこと) | 国語B (読むこと) | 国語B (伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項) | 数学A (数と式) | 数学A (図形) | 数学A (関数) | 数学A (資料の活用) | 数学B (数と式) | 数学B (図形) | 数学B (関数) | 数学B (資料の活用) |
|---------|-----------------|------------|------------|----------------------------|-----------------|------------|------------|----------------------------|-----------|----------|----------|-------------|-----------|----------|----------|-------------|
| 問題数     | 4/32            | 4/32       | 6/32       | 18/32                      | 4/32            | 4/9        | 3/9        | 3/10                       | 12/36     | 12/36    | 8/36     | 4/36        | 3/15      | 6/15     | 3/15     | 3/15        |
| 当別町     | 97.2            | 94.3       | 90.7       | 97.4                       | 93.6            | 84.5       | 91.4       | 69.8                       | 94.7      | 100.2    | 104.9    | 97.6        | 101.1     | 107.9    | 97.6     | 94.3        |
| 北海道(公立) | 99.5            | 99.5       | 99.1       | 98.8                       | 99.3            | 98.8       | 99.7       | 98.3                       | 96.7      | 100.6    | 99.1     | 97.2        | 97.0      | 97.7     | 100.0    | 95.3        |
| 全国(公立)  | 100             | 100        | 100        | 100                        | 100             | 100        | 100        | 100                        | 100       | 100      | 100      | 100         | 100       | 100      | 100      | 100         |

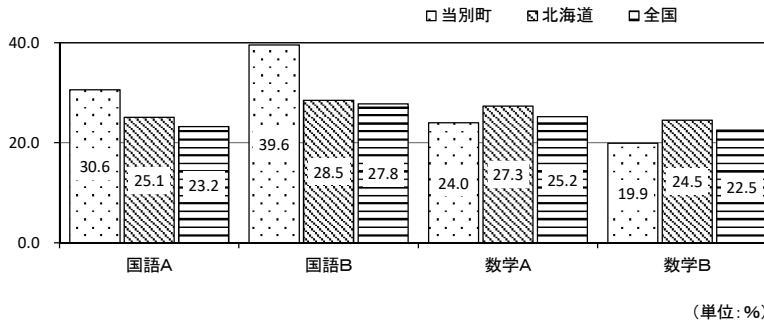
教科の領域別に全国を100とした場合の状況をレーダーチャートで示したもの。

(当別町生徒の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



### 3 全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に含まれる生徒の割合

| 全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に含まれる生徒の割合 | 国語A       |       |       | 国語B     |       |       | 数学A       |       |       | 数学B      |       |       |
|------------------------------|-----------|-------|-------|---------|-------|-------|-----------|-------|-------|----------|-------|-------|
|                              | 当別町       | 北海道   | 全国    | 当別町     | 北海道   | 全国    | 当別町       | 北海道   | 全国    | 当別町      | 北海道   | 全国    |
|                              | 30.6%     | 25.1% | 23.2% | 39.6%   | 28.5% | 27.8% | 24.0%     | 27.3% | 25.2% | 19.9%    | 24.5% | 22.5% |
|                              | 32問中21問以下 |       |       | 9問中5問以下 |       |       | 36問中17問以下 |       |       | 15問中4問以下 |       |       |
| 全国との差                        | + 7.4     | 多い    |       | + 11.8  | 多い    |       | ▲ 1.2     | 少ない   |       | ▲ 2.6    | 少ない   |       |
| 昨年度の全国との差                    | + 2.5     | 多い    |       | + 4.8   | 多い    |       | ▲ 2.1     | 少ない   |       | ▲ 0.4    | 少ない   |       |
| 昨年度と差の比較                     | + 4.9     | 増加    |       | + 7.0   | 増加    |       | + 0.9     | 増加    |       | ▲ 2.2    | 減少    |       |



### 4 教科ごとの結果概要

#### 【国語】

- ① 平均正答率・正答数ともに全国よりやや低い結果となった。特に国語Bにおいては、昨年度よりも平均正答率の差は大きくなった。
- ② すべての領域で、国語A・Bとも全国の平均正答率を下回っている。とりわけ国語B「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域が、全国と比べ大きく下回っている。
- ③ 下位層の割合については、国語A・Bとも昨年度と比べ増加している。

#### 【数学】

- ① 数学Aの平均正答率・正答数ともに全国と同様の結果となったが、平均正答率は昨年度を下回った。数学Bでは、平均正答率・正答数ともに全国平均を上回っている。
- ② 領域別では、数学A「数と式」「資料の活用」、数学B「関数」「資料の活用」の領域が全国平均を下回っている。一方、数学A「図形」「関数」、数学B「数と式」「図形」の領域が、全国平均を上回っている。
- ③ 下位層の割合については、昨年度と比べ数学Aで増加しているが、数学Bでは減少している。

### 5 改善策

- 教科担任が、全国学力テストがいかなるものかを理解するために、テストをやってみる。そのことから、子どもたちにこれからつけさせる学力を理解し、それに向けた授業改善を積極的に行っていく。
- 小中一貫教育の推進により、小中の学習規律が統一されているが、一層の定着を図る。
- 小中一貫推進講師を習熟度別・少人数指導に積極的に活用する。
- 小中で研究テーマを一本化し、共同研究・研修を行う。
- 小中で全国学力テストの結果・課題を共有し、学校改善プランも小中の教師が協働でプランを実行する。

中学校で「個性・能力の伸長を図る学習」「自主的・主体的な学び」へ学びを進化させるためには、習熟度別・少人数指導などの指導方法を工夫する必要がある。さらに、より一層授業改善を進めていくためにも、教務部と研究部を中心とした研究・研修を行い、PDCAサイクルによる組織的な取り組みが重要である。

## 2) 学習状況調査（生活習慣・学習環境等）

### 【学習に関して】

| 全国と比べ優位な項目                            | 当別町  | 全国   | 差     |
|---------------------------------------|------|------|-------|
| 数学の授業の内容はよく分かりますか<br>(「当てはまる」と回答した割合) | 43.8 | 31.5 | +12.3 |

| 全国と比べ改善が必要な項目  | 当別町  | 全国   | 差     |
|--|------|------|-------|
| 国語の勉強は大切だと思いますか<br>(「当てはまる」と回答した割合)  | 52.9 | 56.1 | △3.2  |
| 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか<br>(「当てはまる」と回答した割合)                                      | 16.5 | 19.4 | △2.9  |
| 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか<br>(「当てはまる」と回答した割合)                                    | 14.9 | 22.7 | △7.8  |
| 今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか<br>(「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答した割合)          | 60.3 | 72.3 | △12.0 |
| 数学の勉強は大切だと思いますか<br>(「当てはまる」と回答した割合)  | 36.4 | 47.7 | △11.3 |
| 数学ができるようになりたいと思いますか<br>(「当てはまる」と回答した割合)  | 52.1 | 73.7 | △21.6 |
| 数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか<br>(「当てはまる」と回答した割合)   | 28.9 | 36.0 | △7.1  |
| 数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか<br>(「当てはまる」と回答した割合)  | 10.7 | 16.5 | △5.8  |
| 数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか<br>(「当てはまる」と回答した割合)  | 28.9 | 37.3 | △8.4  |
| 今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか<br>(「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答した割合) | 47.1 | 55.4 | △8.3  |

### 特徴的な傾向

- ・調査結果から、主体的な学びの部分に課題があると判断できる。主要教科である国語と数学の学ぶ楽しさを生徒に感じさせるような授業を行うことが大切である。
- ・既習事項を授業で生かしたり、日常生活に結び付けることの重要性を教員に再認識させたい。
- ・問題を最後まで諦めずに解こうとする粘り強さにやや欠ける面が見受けられる。解答するための引き出しを多くしてあげることが、重要である。

【家庭学習について】

| 全国と比べ優位な項目  | 当別町  | 全国   | 差     |
|---|------|------|-------|
| 家で、学校の宿題をしていますか<br>(「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合の合計)    | 94.2 | 89.5 | +4.7  |
| 家で、学校の授業の復習をしていますか<br>(「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合の合計) | 62.0 | 50.5 | +11.5 |
| 学習塾（家庭教師を含む）で勉強をしていますか<br>(「学習塾に通っていない」と回答した割合)         | 53.7 | 38.5 | +15.2 |

| 全国と比べ改善が必要な項目   | 当別町  | 全国   | 差     |
|---|------|------|-------|
| 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）<br>(2時間以上勉強している割合の合計) | 23.9 | 35.4 | △11.5 |
| 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）<br>(2時間以上勉強している割合の合計)    | 30.5 | 41.8 | △11.3 |

特徴的な傾向

- ・家庭学習の定着がうかがえるが、普段の家庭学習の時間（2時間以上）、休日の家庭での学習時間（2時間以上）が全国を大きく下回っていることが課題である。特に、当別町では塾に通っていない生徒が全国より多いことから、家庭学習で復習をしっかりと行うことが極めて重要になる。その対策を学校全体で取り組む必要がある。

【基本的な生活習慣について】

| 全国と比べ優位な項目  | 当別町  | 全国   | 差    |
|---|------|------|------|
| 朝食を毎日食べていますか<br>(「している」と回答した割合)   | 86.8 | 82.7 | +4.1 |
| 携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか<br>(「きちんと守っている」「だいたい守っている」と回答した割合の合計) | 56.2 | 50.6 | +5.6 |
| テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めてありますか<br>(「している」と回答した割合)                       | 16.5 | 14.8 | +1.7 |

| 全国と比べ改善が必要な項目   | 当別町  | 全国   | 差     |
|---|------|------|-------|
| 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか<br>(「している」と回答した割合)   | 24.0 | 31.1 | △7.1  |
| 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか<br>(「4時間以上」と回答した割合)         | 24.8 | 11.4 | +13.4 |
| 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)<br>(「4時間以上」と回答した割合) | 14.9 | 9.5  | +5.4  |
| 家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか<br>(「している」と回答した割合)   | 36.4 | 44.0 | △7.6  |
| テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか(携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む)<br>(「よく見る」と回答した割合)                     | 44.6 | 51.8 | △7.2  |

特徴的な傾向

- ・携帯電話、スマートフォン、テレビゲームに関する家庭内でのルール作りが、全国より高い。
- ・当別町子どもたちは、家庭内のルールを守っているが、テレビゲームやメール、インターネットに費やす時間が長い傾向にある。家庭や地域と連携し、規則正しい生活習慣の確立を図る必要がある。
- ・テレビやインターネットでニュースを見る割合が全国と比べて低い傾向にある。社会に関心を持つように、様々な取り組みをする必要がある。



【指導に関わる項目について】

| 全国と比べ優位な項目  | 当別町  | 全国   | 差     |
|---|------|------|-------|
| 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか<br>(「当てはまる」「どちらかといえば、あてはまる」と回答した割合の合計)       | 78.5 | 75.5 | +3.0  |
| 1, 2年生のときに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか<br>(「当てはまる」「どちらかといえば、あてはまる」と回答した割合の合計)           | 91.7 | 84.4 | +7.3  |
| 1, 2年生のときに受けた授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか<br>(「当てはまる」「どちらかといえば、あてはまる」と回答した割合の合計)             | 95.8 | 87.8 | +8.0  |
| 1, 2年生のときに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか<br>(「当てはまる」「どちらかといえば、あてはまる」と回答した割合の合計) | 94.2 | 80.3 | +13.9 |

| 全国と比べ改善が必要な項目   | 当別町  | 全国   | 差    |
|---|------|------|------|
| 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか<br>(「当てはまる」と回答した割合)  | 29.8 | 34.5 | △4.7 |
| 学校の規則を守っていますか<br>(「当てはまる」と回答した割合)   | 54.5 | 63.0 | △8.5 |
| 1, 2年生のときに受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか<br>(「当てはまる」と回答した割合)                    | 19.8 | 26.8 | △7.0 |
| 1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか<br>(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計) | 52.0 | 57.9 | △5.9 |
| 1, 2年生のときに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか<br>(「当てはまる」と回答した割合)  | 19.0 | 25.3 | △6.3 |
| 生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか<br>(「当てはまる」と回答した割合)   | 10.7 | 19.7 | △9.0 |

特徴的な傾向

- ・学習規律は、少しずつ定着しつつあることがうかがえる。
- ・主体的、対話的な学びが、全国よりも低く、今後の授業改善が急がれる。
- ・授業の終わりに行う「学習内容の振り返り」が全国よりも低く、授業のまとめや振り返りをしっかり行うように授業改善を進めていきたい。
- ・規範意識が、全国より低い傾向にある。

【その他について】

| 全国と比べ優位な項目   | 当別町  | 全国   | 差    |
|--|------|------|------|
| 人の役に立つ人間になりたいと思いますか<br>(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計) | 97.5 | 91.9 | +5.6 |

| 全国と比べ改善が必要な項目  | 当別町  | 全国   | 差     |
|--|------|------|-------|
| 今住んでいる地域の行事に参加していますか<br>(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)            | 32.2 | 42.1 | △9.9  |
| 地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか<br>(「参加したことがある」と回答した割合)                   | 30.6 | 49.7 | △19.1 |
| 人が困っているときは、進んで助けていますか<br>(「当てはまる」と回答した割合の合計)                           | 28.1 | 35.6 | △7.5  |
| 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか。<br>(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)    | 51.3 | 59.2 | △7.9  |
| 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか<br>(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計) | 19.0 | 33.4 | △14.4 |

特徴的な傾向

- ・「人の役に立つ人間になりたい」という設問で全国より高い割合を示しており、自己肯定感が高いことがうかがえる。
- ・「地域行事への参加」「地域社会でのボランティア活動への参加」の割合が、全国を大きく下回っていることから、地域との関わりを深める活動の充実を図る必要がある。
- ・子どもたちが、地域で安全に生活できるためには、地域の大人の子育てへの関与を強めるとともに、ボランティア活動を体験させるなど、自分が地域の一員であることをしっかりと自覚できるようにしなければならない。将来の地域づくりの担い手を育てる意味でも、コミュニティ・スクールの果たす役割は大きなものがある。

# 当別町学力向上プラン

【目標】 全国学力・学習状況調査で全教科全国平均以上をめざす

【現状】

- 小学校では、国語 A、算数 A、国語 B で昨年度から改善がみられ、平均正答率では全国との差が1ポイント以内となっている。
- 中学校では、数学 B が全国平均を上回り、その他の教科は下回っているが、全国との差は、確実に小さくなっている。

【具体的な方策】

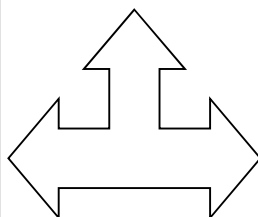
学 校

- 教科系統表による義務教育9年間を見通した指導
- 一貫教育推進講師の効果的な活用
- 家庭学習の定着と内容の工夫
- 学習規律の徹底を柱とした支持的風土づくり
- 学校改善プランの着実な実践
- 下位層の底上げのために、計画的な習熟度別・少人数指導
- 小中の研究計画を9年間見通したものに改め、合同研究・研修の推進。
- ベテラン教師の技を同僚教師に伝達するメンター研修の推進
- 「主体的、対話的で深い学び」の視点を入れた授業づくり

教育委員会

- 小中一貫教育の推進
- 小中一貫教育推進講師の配置
- 小中の乗り入れ授業の指導
- ICT機器の活用に関する研修機会の整備
- 指導工夫改善に関わる指導
- 放課後学習会や土曜学習会の充実
- 長期休業中の学習支援の充実
- 読書活動の充実
- コミュニティ・スクールの活用・支援
- 教師の資質向上のための研修機会の充実
- 学習指導要領の改訂に向け、小学校における外国語科やプログラミング学習に対応できる人材の発掘・活用

学力向上



|              |     |     |    |    |    |      |    |      |    |      |    |             |  |
|--------------|-----|-----|----|----|----|------|----|------|----|------|----|-------------|--|
| 10月          | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月   | 5月 | 6月   | 7月 | 8月   | 9月 |             |  |
| 改善プランの見直し・実践 |     |     |    | →  |    |      |    |      |    |      |    | 改善プランの着実な実践 |  |
| 改善プランの見直し    |     |     |    |    |    | 全国学テ |    | 中間評価 |    | 夏季休業 |    |             |  |

